

○荒川は、村田町大字足立の山麓に源を発し、白石川へ注ぐ流路延長約17kmの一級河川である。上流部の村田ダムを経て、足立地区の田園地帯を流下する。中流部は市街地と田園地帯が混在する地域となっている。下流部は市街地となっており、沿辺排水機場付近から大河原町と村田町を流れ、国道4号に沿って白石川へと合流する。

○河道掘削や堤防強化等の治水対策事業との連携を図り、多様な優れた自然環境を保全、創出し、自然環境が有する多様な機能を生かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



- 凡例
- ..... 河道掘削, 支障木伐採
  - 堤防強化
  - 実績浸水区域 (令和元年東日本台風)



- 対策1 氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策 (河川区域や集水域における対策)
- ・河道掘削, 支障木伐採
  - ・河川狭窄部となる巻橋の撤去
  - ・堤防強化
  - ・雨水貯留機能の拡大 (田んぼダム)
  - ・流水の貯留 (村田ダム)
  - ・雨水貯留機能の拡大 (各戸貯留、校庭貯留等)

- 対策2 被害対象を減少させるための対策 (氾濫域における対策)
- ・霞堤の機能がある地区の保全
  - ・農業水利施設の活用 (排水強化)
  - ・適切な排水樋管や排水機場等の操作
  - ・土地利用規制などによる被害対象を減少させる対策 (立地適正化計画)
  - ・浸水範囲を減らす対策 (止水壁工の設置)

- 対策3 被害の軽減, 早期復旧, 復興のための対策 (氾濫域における対策)
- ・河川における監視体制の強化 (危機管理型水位計, 簡易型河川カメラ等)
  - ・市町村における避難態勢の強化
  - ・マイタイムライン作成・普及・啓発
  - ・排水ポンプ車の導入

- 対策4 グリーンインフラの取り組みの推進 (自然環境対策)
- 治水対策における多自然川づくり
    - ・生物の多様な生育環境の保全・創出
  - 自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
    - ・動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
    - ・水質の保全
    - ・良質な景観の保全・創出
    - ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

